

1. 経営の重点取り組みテーマ(目標項目)・目標水準(可能な限り定量的に)	2. 主管部門	3. 必要となる資源		⇒	4. 具体的アクション(行動アイテム) *手順を箇条書きで記入	5. スケジュール	
		活用できる資源	獲得すべき資源			着手年月	達成年月
①(重点取り組みテーマ) 地域共生社会実現に向けた取り組みの構築 すべての人が地域で暮らし続けることができ、幸せで生きがいを感じることができることとする 地域の福祉ニーズを発掘することができるシステムの構築する 法人存続のため利用者獲得にむけ取り組む	各事業所管理者 新規プロジェクトチーム	管理職員 一般職員 自治会 まちづくり協議会 社会福祉協議会 民生委員	顧客	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター、社会福祉協議会、まちづくり協議会の地域活動に、足原のぞみ苑にできることを取り入れてもらい、地域であることをアピールしていく ・地域包括支援センターや行政からの要請で、いつでも介護が必要な方の一時避難所としての受け入れができるシステムを構築していく ・足原校区、寿山校区に福祉のことについて相談を受けることができるシステムを構築していく ・入所待機者増のために、医療的ケアに力をいれていく ・看護職員の夜勤をすすめていく 	2025.4	2026.3
②(重点取り組みテーマ) 安定した財務基盤を確立する 事業を取り巻く環境や制度の動向を把握し、戦略を立てる 各事業の稼働率を常に意識し、収入確保に努める 事業費、事務費などの支出を把握し、コスト意識を高め適正に管理する 人件費率にいて把握する	各事業所管理者 法人役員	理事会・評議員会 管理者 一般職員 居宅支援事業所 取引業者	取引業者 管理者を補佐する人材	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況を把握するために事業計画に基づいた予算書を作成し、月次で管理を行う ・感染物品、オムツ等の消耗品の使用を月次で管理を行う ・特養稼働率97%、ショートステイ稼働率75%を維持する ・適正な人件費率65%を維持する 	2024.4 2024.4 2025.4 2024.4	2027.03 2027.03 2026.03 2027.03
③(重点取り組みテーマ) 職員の質の向上と入居者家族の満足度をあげる 入居者と家族の満足度をあげるためにサービスの質を高めるシステムを構築する サービスの質を評価できるシステムを構築する キャリアパスシステムを構築する 職員の専門的知識を向上させる 外国人機能性の評価表を稼働させる 外国人機能性に介護福祉士を取得しやすい環境を準備する	各事業所管理者 一般職員	管理者 一般職員 第三者委員	コンサルティングに強い人材	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課者が人事考課システムを理解して、公正公平で根拠のある評価を行えるようにする ・全職員が目標を立てやすいチャレンジシートを作成し、キャリアパス制度とリンクする ・職員と評価者、だれが見てもわかりやすい評価システムを構築する ・昇給率と賞与率を職員が理解し、職員エンゲージメントをあげていく ・全職員がケアプランとサービス提供マニュアルを理解してサービスを実践する ・サービス提供についての家族会議を行う(適宜、4回/年) ・職員に対してサービス提供についてのアンケート調査を行う(2回/年) ・家族に対してサービス提供や要望のアンケート調査を行う(2回/年) ・第三者評価を受ける ・外国人技能生に実務者研修を受講してもらい、介護福祉士を目指してもらう 	2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4 2025.4	2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2026.3 2030.3
④(重点取り組みテーマ) 経営理念を実現するために、期待する職員像を明確にしていく ガバナンスの強化とコンプライアンスを徹底していく	各事業所管理者 一般職員	管理者 一般職員		⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・法人がどこに向かっているのか定期的に職員全体会議を開く(2回/年) ・各部署管理者が、部署に理念と運営方針を定期的に話をする(4回/年) 	2024.4 2024.4	2027.3 2026.3
⑤(重点取り組みテーマ) 生産性向上推進体制加算を取得していく 従業員エンゲージメントを高める 職員の離職率をさげる ICTを活用して働きやすさを追求する 残業時間を月50時間以内を目指す 有給取得率60%を目指す	各事業所管理者 一般職員	管理者 一般職員	幹部職員	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に1on1ミーティングを行う(4回/年) ・職員の満足度を点数化するシステムを構築する ・5Sと3Mを毎月見直すシステムを構築する ・記録ソフトのケアコネを活用し、家族との連絡方法を構築し、介護書類の同意もケアコネで簡単に実行する 	2024.4 2025.4 2025.4	2025.3 2027.3 2025.4

<p>1. 法人の理念/単位組織の使命・目的・機能</p> <p><理念> 利用者が、明るく安心して生活できるよう、一人ひとりの人格を尊重し、その有する能力に応じて自立した生活を営むことが出来るようサービスを提供します。</p> <p><使命> 地域に対して福祉に関する公益的な活動と事業継続を使命とする。</p> <p><目的> 地域の福祉サービス拠点となり、地域の困りごとや悩み事に、やさしさと思いやりをもって支援していく。</p> <p><機能> 認知症高齢者、生活困窮者等の緊急受け入れ。 要介護状態の高齢者の安心安全な生活の提供。</p>		<p>・自施設の定員(利用者数) 入所 80名 通所 40名 短期入所 20名 職員数 常勤 名 非常勤 名</p>		
<p>2. 外部環境特性(優先度の高い順に)</p> <table border="1"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>①社会福祉法人としての地域への貢献が求められている ②高齢者の減少と特別養護老人ホームが増えたことで施設経営が難しくなると予想される ③在宅サービスと施設サービスの連携が重要になる ④認知症高齢者の入所希望が増えると予想される ⑤医療ニーズの高い方の入所希望が増えると予想される ⑥ICT活用の機会が増えている ⑦社会福祉ニーズが多様化することが予想される</p> </td><td style="vertical-align: top;"> <p>①高齢者減少と近隣に特別養護老人ホームが多いことで、入所待機者の減少が予想される ②特養とショートステイの稼働率が下がっていることが想定される ③高齢者施設が多く介護人材が不足している ④施設の老朽化が進み修繕費がかからてくると予想される ⑤施設の入居者数が減少し、職員の人員費が収益を圧迫することが予想される ⑥入居者の介護度が重度化し、重度の認知症の症状のある方が増えている ⑦入居者の家族ニーズが高まっていると予想される ⑧離職率が高くなっている</p> </td></tr> </table>			<p>①社会福祉法人としての地域への貢献が求められている ②高齢者の減少と特別養護老人ホームが増えたことで施設経営が難しくなると予想される ③在宅サービスと施設サービスの連携が重要になる ④認知症高齢者の入所希望が増えると予想される ⑤医療ニーズの高い方の入所希望が増えると予想される ⑥ICT活用の機会が増えている ⑦社会福祉ニーズが多様化することが予想される</p>	<p>①高齢者減少と近隣に特別養護老人ホームが多いことで、入所待機者の減少が予想される ②特養とショートステイの稼働率が下がっていることが想定される ③高齢者施設が多く介護人材が不足している ④施設の老朽化が進み修繕費がかからてくると予想される ⑤施設の入居者数が減少し、職員の人員費が収益を圧迫することが予想される ⑥入居者の介護度が重度化し、重度の認知症の症状のある方が増えている ⑦入居者の家族ニーズが高まっていると予想される ⑧離職率が高くなっている</p>
<p>①社会福祉法人としての地域への貢献が求められている ②高齢者の減少と特別養護老人ホームが増えたことで施設経営が難しくなると予想される ③在宅サービスと施設サービスの連携が重要になる ④認知症高齢者の入所希望が増えると予想される ⑤医療ニーズの高い方の入所希望が増えると予想される ⑥ICT活用の機会が増えている ⑦社会福祉ニーズが多様化することが予想される</p>	<p>①高齢者減少と近隣に特別養護老人ホームが多いことで、入所待機者の減少が予想される ②特養とショートステイの稼働率が下がっていることが想定される ③高齢者施設が多く介護人材が不足している ④施設の老朽化が進み修繕費がかからてくると予想される ⑤施設の入居者数が減少し、職員の人員費が収益を圧迫することが予想される ⑥入居者の介護度が重度化し、重度の認知症の症状のある方が増えている ⑦入居者の家族ニーズが高まっていると予想される ⑧離職率が高くなっている</p>			
○ 機会	脅威	<p>①(重点取り組みテーマ名) 地域共生社会実現に向けた取り組みの構築 T①②×W① 防衛 重点取り組みテーマ設定の根拠・理由(なぜ、このテーマが重点なのか。) 社会福祉法人として、地域の福祉ニーズが多様化する中で、すべての人が地域で暮らし続けることができ、幸せで生きがいを感じることができることを目的とする必要がある。地域共生社会を実現するために、地域の福祉ニーズを発掘することができるシステムの構築が必要である。また、多様化する福祉ニーズに対応できるよう法人の多様化・多機能化が必要である。 高齢者人口減少による特養待機者減少傾向であり、法人存続のため利用者獲得にむけ取り組みが必要である。</p> <p>②(重点取り組みテーマ名) 安定した財務基盤を確立する T②④⑤×W②⑨ 防衛 重点取り組みテーマ設定の根拠・理由(なぜ、このテーマが重点なのか。) 法人存続のための将来を見通した計画を作成する。各部署が重要業務指標をたて、計画的に運営を行っていく。特養とショートステイとデイサービスの稼働率を向上させる取り組みを行う。稼働率をあげるための方法を見える化し定期的に評価していく。</p> <p>③(重点取り組みテーマ名) 職員の質の向上と入居者家族の満足度をあげる T①②⑤×W④⑤⑦ 防衛 重点取り組みテーマ設定の根拠・理由(なぜ、このテーマが重点なのか。) 入居者の人権を尊重し、個人の尊厳が守れる福祉サービスを提供していくことで、入居者を獲得していく。 職員の入居者への支援の仕方、考え方を向上させ、サービスの質をあげていくことで、入居待機者の人数を確保する。入居者家族の満足度を向上させることで、地域に対してアピールする。そうすることで特養ショートステイ、デイサービスの稼働率もあげていく。 経営者は、リーダーシップを發揮し、経営理念や経営方針等の明確化を図り、法人内への周知徹底を図る</p>		
S 強み	W 弱み	<p>④(重点取り組みテーマ名) 経営理念を実現するために、期待する職員像を明確にしていく T③⑧×W⑦ 防衛 重点取り組みテーマ設定の根拠・理由(なぜ、このテーマが重点なのか。) 経営理念を実現するために、法人が期待する職員像を明確にすることで職員の進む方向性を提示できる。職員が自分の3～5年先が見えるようにキャリアパスを構築し、職員のモチベーションをあげる。職員のモチベーションをあげることで、従業員エンゲージメントもあげていくことで職位率を減らしていく。安定して職員を継続雇用することで良い職場環境をつくっていく。</p> <p>⑤(重点取り組みテーマ名) 風通しの良い職場の人間関係の構築し、働きやすい職場づくりに取り組む O④⑤⑥×S①②③ 防衛 役職員は一般職員の意見に耳を傾け良いと思ったことは行動にうつす。(1on1ミーティング)ICTを活用した働きやすい職場環境を構築する。 役職から一般職まで理念を浸透させ、入居者を大事にし職員同士が相互尊重できる組織としていく。</p> <p>(その他の取り組みテーマ名) 重点取り組みテーマ設定の根拠・理由(なぜ、これらのテーマが重点なのか。)</p>		